

**中期的な計画(中期計画(仮称))の作成に向けた
第1回問い合わせの結果概要**

国土交通省

中期的な計画(中期計画(仮称))の作成に向けた 第1回問い合わせの結果概要(目次)

1. 意見聴取の結果(回答数)	・・・ 1
2. 第1回問い合わせ結果のまとめ	・・・ 2
3. 国民を対象とした一般アンケート調査の結果概要	・・・ 3
Q1「効率化」に関する回答	・・・ 3
Q2「無駄」に関する回答	・・・ 4
Q3「重点化」に関する回答	・・・ 5
Q3「重点化」に関する回答 / 県別集計	・・・ 6
Q4「道路政策全般など」に関する回答	・・・ 7
4. 都道府県知事・市町村長の意見概要	・・・ 8
都道府県知事・市町村長の意見概要	・・・ 8
都道府県知事・市町村長の意見概要(地域ごとの特色)	・・・ 10
5. 有識者の意見概要	・・・ 12
(参考)	
・国民を対象とした一般アンケート調査の回答者の属性	・・・ 14

意見聴取の結果(回答数)

国民を対象とするアンケートについては、101,314件の回答が得られた。また、すべての都道府県知事・市町村長についても意見聴取を実施し1,874人全員からの回答が得られた。有識者については直接訪問して意見聴取を行い、2,928人から回答が得られた。このほか、中期計画の作成等に関し、経済団体など各種団体から提言や意見等を頂いた。

< 主な問い合わせ・
意見聴取の対象 >

< 今回の取り組み >

< 回答状況 >

国 民

ホームページを開設しアンケート
を実施

アンケート用紙をSA・PA、道の駅、
自治体窓口等で配布

101,314件の回答	
内訳：ホームページ	13,042件
郵送	87,421件
FAX	515件
電子メール	336件

回答の相違がなくなるようHPでは選択肢の順番を毎週変更、アンケート用紙は2通り作成

都道府県知事
市町村長

文書により回答依頼(自由回答)
・全知事・全市町村長

意見聴取時期 4/2～5/8
1,874人全員から回答

有識者

直接訪問
・大学教授、経済界等
・報道機関の論説委員、解説者等

2,928人から回答
(うち公表可 2,573人)

第1回問い合わせ結果のまとめ

1. 重点的に取り組むべき施策を全国的に見ると、「渋滞対策」、「生活幹線道路」及び「交通事故対策」を求める意見が多かったが、地域の抱える課題や道路整備状況に応じて、地域によって求める施策に相違が見られた。

首都圏においては、「環状道路整備」を求める意見が多く、高速ネットワークがつながっていない地域では、「高速道路整備」を求める意見が多かった。

「災害対策」、「都市や交通拠点を結ぶ道路整備」、「道路管理の充実」を求める意見が多い地域もあった。

首長や有識者の意見には、地域間の経済格差の是正のため、また、移動手段が自動車に限定される地方の実情を踏まえ、地方の道路整備の必要性を主張する意見が多く見られた。

また、危機管理、救急医療など、経済性・効率性だけでは評価できない道路整備もあるとの意見もあった。

一方で、有識者の中には、交通量の少ない地方の道路は無駄であり、高速道路の整備水準も上がっており、これ以上の整備は不要であるとの意見や、客観的な指標を公開して、事業の優先順位を判断して事業を進めるべきとの意見もあった。

2. 効率化を進めるべき事項としては、「現在ある道路の有効利用」、「国民の意見等の反映」、「コスト縮減」という回答が上位を占めた。

3. 無駄と感じることとしては、「路上工事」を挙げる回答が最も多かった。
一方で、「無駄はない」とする回答も相当数あった。

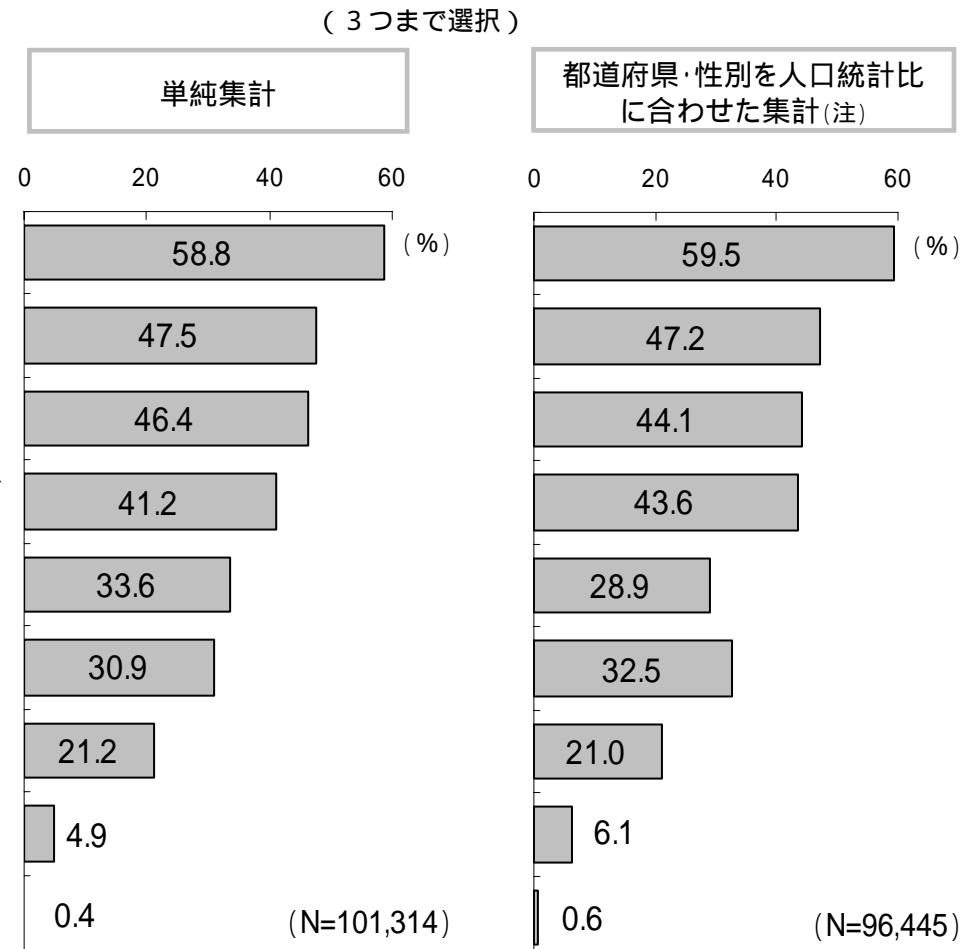
国民を対象とした一般アンケート調査の結果概要

(Q1「効率化」に関する回答)

Q1 効率化を徹底的に進める上で重要なこと（選択回答式）

効率化を徹底的に進める上で重要な事項としては、多い順に「現在ある道路の有効利用」(58.8%)、「国民の意見等を反映」(47.5%)、「コスト縮減」(46.4%)となった。

- 現在ある道路をもっと有効に利用する(高速道路料金の引き下げ、インターチェンジの増設、路上工事の縮減など)
- 事業の実施にあたって、早い段階から国民の考え方や意見が十分に反映されるような取組みをもっと行う
- 道路の建設や管理にかかるコストをもっと減らす努力をする(工法の工夫や新技術の活用など)
- 事業の開始前や途中段階で必要性をチェックするなど事業ごとの評価を徹底する
- 個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底する
- 入札契約の適正化など事業の透明性を確保する
- 沿道の住民やNPO(特定非営利活動法人)などが道路の管理にもっと参画できる取組みを行う
- その他
- わからない



(注)回答者の都道府県・性別構成比をH17国勢調査の構成比に合わせて集計したもの(各構成比はP14・15に記載)

国民を対象とした一般アンケート調査の結果概要

(Q2「無駄」に関する回答)

Q2 道路に関して無駄と感じること（自由回答式）

101,314件のうち、50,883件から回答があった。

道路に関して無駄と感じる点としては、「路上工事に関すること」(10,745件)、「道路整備の必要性に関すること」(9,820件)が多かった。一方で、「無駄はない」という回答も相当数あった(11,600件)。

意見例

路上工事等工事に関すること 10,745件

「同じところを何度も掘り返している」
「年度末に集中して工事している」

道路整備の必要性に関すること 9,820件

「交通量が少ないので立派な道路は無駄」
「道路はもう要らない」

道路の維持管理に関すること 3,295件

「街路樹は無駄」
「雪の量が少ないと雪の除雪作業は無駄」

歩道に関するこ 3,081件

「広すぎる歩道は無駄」

道路整備の進め方に関するこ 2,465件

「未完成で放置されている道路は無駄」
「高速道路に並行してバイパスを作るのは無駄」

農道・林道との調整に関するこ 1,680件

「立派な農道・林道は無駄」

交通安全に関するこ 1,650件

「信号機・歩道橋・横断歩道などが多くすぎる」
「ガードレールの過剰デザインは無駄」

渋滞に関するこ 1,331件

「渋滞による時間ロスが無駄」
「開かずの踏切は渋滞の原因となり、無駄」

行政組織に関するこ 1,178件

「縦割り行政は無駄」

無駄はない 11,600件

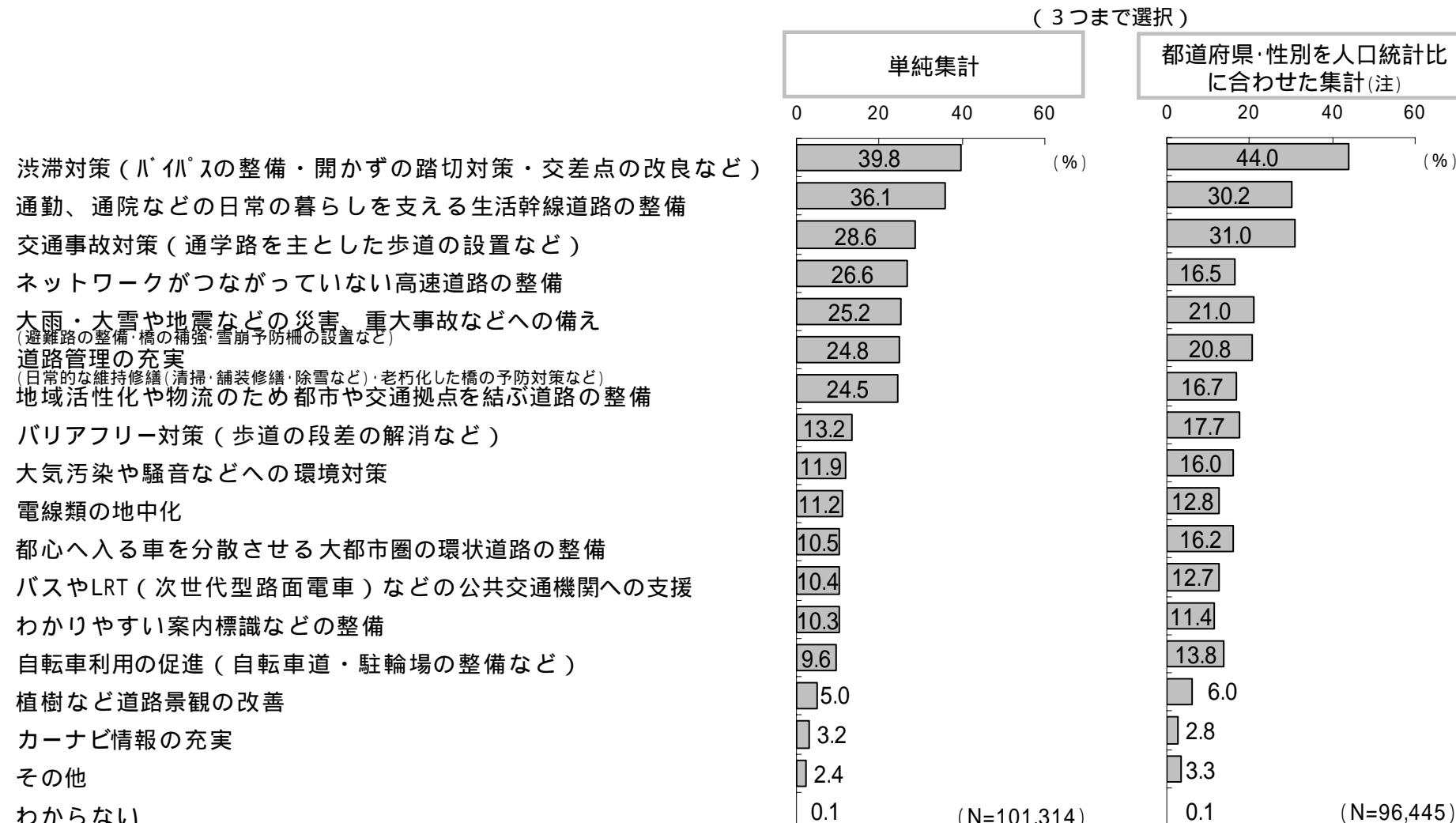
「無駄なものはない」「特になし」

国民を対象とした一般アンケート調査の結果概要

(Q3「重点化」に関する回答)

Q3 道路政策を進める上で重点的に取り組むべきこと（選択回答式）

単純集計では、多い順に「渋滞対策」(39.8%)、「生活幹線道路の整備」(36.1%)、「交通事故対策」(28.6%)、「高速道路の整備」(26.6%)となった。



(注)回答者の都道府県・性別構成比をH17国勢調査の構成比に合わせて集計したもの(各構成比はP14・15に記載)

国民を対象とした一般アンケート調査の結果概要

(Q3「重点化」に関する回答/県別集計)

Q3 道路政策を進める上で重点的に取り組むべきこと(選択回答式 / 県別集計)【単純集計】

県別に見ると、上位3項目は「渋滞対策」、「生活幹線道路整備」、「交通事故対策」が多く選択されている。

首都圏では、埼玉、千葉、東京、神奈川において、「環状道路整備」の回答が2位となっている。

高速ネットワークがつながっていない地域では、「高速道路整備」の回答が上位となっている。

1位の県:山形、鳥取、島根、宮崎 3位の県:秋田、神奈川、徳島、大分

その他、「災害対策」、「都市や交通拠点を結ぶ道路整備」、「道路管理の充実」の回答が上位となっている県もある。

「災害対策」：北海道、岩手、山形、新潟、福井、山梨、徳島、高知

「都市や交通拠点を結ぶ道路整備」：岩手、宮城、島根、宮崎、鹿児島

「道路管理の充実」：北海道、青森、秋田、石川、長野、熊本

各都道府県 全16項目のうち上位5項目

		1	2	3	4	5
北海道	災害対策	36.1	道路管理の充実	34.0	生活幹線道路整備	32.1
青森県	生活幹線道路整備	42.5	渋滞対策	35.2	道路管理の充実	33.2
岩手県	生活幹線道路整備	45.7	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	38.9	災害対策	31.9
宮城県	渋滞対策	44.4	生活幹線道路整備	36.0	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	30.1
秋田県	生活幹線道路整備	39.9	道路管理の充実	37.0	高速道路整備	31.7
山形県	高速道路整備	60.4	生活幹線道路整備	34.0	災害対策	33.7
福島県	生活幹線道路整備	44.3	渋滞対策	37.9	交通事故対策	34.1
茨城県	渋滞対策	49.0	生活幹線道路整備	36.1	交通事故対策	28.5
栃木県	渋滞対策	51.2	交通事故対策	46.4	生活幹線道路整備	34.8
群馬県	渋滞対策	49.1	生活幹線道路整備	34.2	交通事故対策	31.4
埼玉県	渋滞対策	58.3	環状道路整備	34.8	交通事故対策	30.3
千葉県	渋滞対策	54.7	環状道路整備	33.3	交通事故対策	28.3
東京都	渋滞対策	55.2	環状道路整備	42.7	交通事故対策	21.3
神奈川県	渋滞対策	60.1	環状道路整備	42.7	高速道路整備	21.2
新潟県	渋滞対策	43.5	生活幹線道路整備	37.6	災害対策	32.4
富山県	渋滞対策	47.2	生活幹線道路整備	34.9	交通事故対策	28.6
石川県	渋滞対策	37.2	道路管理の充実	33.8	生活幹線道路整備	31.6
福井県	災害対策	41.6	生活幹線道路整備	39.1	渋滞対策	32.3
山梨県	渋滞対策	45.7	生活幹線道路整備	36.4	災害対策	29.2
長野県	生活幹線道路整備	44.4	渋滞対策	42.5	道路管理の充実	29.5
岐阜県	渋滞対策	43.8	生活幹線道路整備	40.1	交通事故対策	37.6
静岡県	渋滞対策	55.3	生活幹線道路整備	36.1	交通事故対策	27.9
愛知県	渋滞対策	54.0	交通事故対策	31.5	生活幹線道路整備	31.0
三重県	渋滞対策	49.0	生活幹線道路整備	36.5	交通事故対策	33.9

		1	2	3	4	5
滋賀県	渋滞対策	56.5	交通事故対策	39.1	生活幹線道路整備	34.6
京都府	渋滞対策	46.2	生活幹線道路整備	31.9	交通事故対策	28.5
大阪府	渋滞対策	46.0	交通事故対策	28.5	生活幹線道路整備	20.7
兵庫県	渋滞対策	46.8	生活幹線道路整備	32.6	交通事故対策	32.0
奈良県	渋滞対策	49.9	生活幹線道路整備	41.5	交通事故対策	26.4
和歌山県	生活幹線道路整備	47.2	渋滞対策	45.0	交通事故対策	29.0
鳥取県	高速道路整備	39.3	渋滞対策	37.4	生活幹線道路整備	35.7
島根県	高速道路整備	67.6	生活幹線道路整備	37.3	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	32.6
岡山県	渋滞対策	49.6	交通事故対策	35.5	生活幹線道路整備	34.9
広島県	渋滞対策	52.5	生活幹線道路整備	35.6	交通事故対策	28.7
山口県	生活幹線道路整備	41.4	渋滞対策	38.1	交通事故対策	33.2
徳島県	渋滞対策	43.6	生活幹線道路整備	39.9	高速道路整備	27.7
香川県	渋滞対策	44.1	交通事故対策	37.5	生活幹線道路整備	35.3
愛媛県	渋滞対策	43.9	生活幹線道路整備	38.9	交通事故対策	33.2
高知県	生活幹線道路整備	48.8	渋滞対策	36.6	災害対策	35.5
福岡県	渋滞対策	48.3	生活幹線道路整備	33.0	交通事故対策	32.9
佐賀県	渋滞対策	46.6	交通事故対策	42.0	生活幹線道路整備	40.8
長崎県	生活幹線道路整備	44.4	渋滞対策	41.8	交通事故対策	29.3
熊本県	渋滞対策	48.5	生活幹線道路整備	41.6	道路管理の充実	27.6
大分県	生活幹線道路整備	45.6	渋滞対策	43.1	高速道路整備	35.5
宮崎県	高速道路整備	41.2	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	37.1	生活幹線道路整備	36.9
鹿児島県	生活幹線道路整備	39.7	交通事故対策	32.3	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	29.6
沖縄県	渋滞対策	46.5	生活幹線道路整備	34.1	交通事故対策	32.4

国民を対象とした一般アンケート調査の結果概要

(Q4「道路政策全般など」に関する回答)

Q4 「道路政策全般など」に関すること（自由回答式）

101,314件のうち、46,678件から回答があった。

道路政策全般などに関する自由意見としては、「Q1効率化」「Q3重点化」で選択した内容を重ねて回答するほか、「地域格差のは是正、地方の道路整備に関すること」(4,628件)、「道路特定財源に関すること」(2,781件)等の意見が多かった。

意見例

高速道路の整備に関すること 8,505件

「高速道路の空白地域をなくしてほしい」

地域格差のは是正、地方の道路整備に関すること 4,628件

「過疎化の進む地域が取り残されないように」

地域幹線道路ネットワークに関すること 3,812件

「地域内の生活道路の整備を」

事業評価の運用・透明性の確保に関すること 3,575件

「事後評価を適正に行うこと」

交通事故対策に関すること 3,351件

「安全対策を進めるべき」

渋滞対策に関すること 3,060件

「車を分散させ、渋滞を減らしてほしい」

道路特定財源に関すること 2,781件

「道路特定財源の一般財源化反対」

さまざまな主体の参画に関すること 2,411件

「もっと国民の意見を聞くべき」

歩道に関すること 2,355件

「通学路を主とした歩道の見直しを」

工程管理に関すること 1,926件

「もっとスピーディに事業を進めるべき」

都道府県知事・市町村長の意見概要(全知事・全市町村長:1,874人)

全ての都道府県知事・市町村長1,874人に問い合わせを行い、全員から意見を頂いた。

具体的には、「効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと」については、「工程管理」(386件)、「事業評価の徹底」(373件)、「コスト縮減」(342件)、「既存ストックの有効活用を図るべき」(272件)等の意見が多くあった。

また、「重点化を進める上で特に優先度の高い政策」については、「生活幹線道路の整備」(1,398件)、「災害対策」(989件)、「交通事故対策」(884件)、「高速道路の整備」(850件)等の意見が多くあった。

さらに、「道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見」として、「道路特定財源を維持し、道路整備等に活用すべき」(686件)等の意見が多くあった。

意見例

「効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと」について

工程管理(386件)

- ・「多様化する道路整備のニーズへの対応と事業のスピードアップを図ることが重要」
- ・「個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底することが重要である」

事業評価の徹底(373件)

- ・「事業の開始前や途中段階で事業ごとの評価を徹底」
- ・「早い段階で現地調査や評価を行い実情を把握することが重視される」

コスト縮減(342件)

- ・「特に地方の特性に応じた柔軟な道路構造の採用等、地方の裁量を拡大し、コストの削減を図るべき」
- ・「道路の建設や管理にかかるコストを減らす努力が必要と考えている」

既存ストックの有効活用を図るべき(272件)

- ・「高速道路の料金を値下げして有効に活用すべき」

「重点化を進める上で特に優先度の高い政策」について

生活幹線道路の整備(1,398件)

- ・「農業のほか、これといった産業がない当村では、市部への通勤、通院が日常となっている。村民の暮らしを支える幹線道路の整備は緊急の課題」
- ・「幹線道路の整備とあわせて、日常生活を支える生活幹線道路の整備を推進する」

災害対策(989件)

- ・「多発する地震被害や台風の襲来が宿命である我が国の国土事情に鑑み、災害対策を加味した道路整備を進めることが重要」
- ・「防災性の高い道路の整備、地震・津波対策の推進、豪雨時の土砂崩れ等による地域の孤立化を防ぐための道路の斜面対策等が望まれる」

交通事故対策(884件)

- ・「交通事故多発箇所における事故対策や誰もが安心して快適に通行(歩行)できる道路づくりが必要」
- ・「交通事故対策、特に通学路を主とした歩道の設置」

高速道路の整備(850件)

- ・「高速道路については、ネットワークが形成されて初めてその効果が現れることから、最優先し整備すべき」

渋滞対策(714件)

- ・「都市圏内の恒常的な渋滞への対策を進めるべき」

道路管理の充実(442件)

- ・「既存の公共施設の計画的な維持保全・長寿命化が必要」

都市や交通結節点を結ぶ道路整備(417件)

- ・「空港・港湾へのアクセス強化を進めること」

バリアフリー化(367件)

- ・「高齢化社会に対応した道路整備が必要」

「道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見」について

道路特定財源を維持し、道路整備等に活用すべき(686件)

- ・「道路特定財源のような安定した財源のもとで、計画的な遂行による一日でも早い完成こそが、整備の効果を最大限に發揮させるものと考える」

個別路線整備に関する要望(1,260件)

(中期計画に位置付けるべき、という要望含む)

都道府県知事・市町村長の意見概要(地域ごとの特色)

全国的には、地域生活を支える骨格的な道路ネットワークとしての生活幹線道路の整備を進めるべきとの意見が最も多かったが、地域の抱える課題や道路整備状況に応じて、求める施策に相違も見られた。

北海道・東北

広域分散型の地域特性を克服する高速道路ネットワークの整備を進めるべき

除雪・防雪などの災害対策により、冬季間の道路交通の確保が必要

関東

高齢者、子供等の安全な道路利用のために、歩道整備など交通事故対策を進めるべき

開かずの踏切対策、交差点改良等により、慢性的な交通渋滞の解消を進めるべき

北陸

橋梁、道路の耐震補強を含め、災害に強い緊急輸送道路の整備を進めるべき

地域の活性化、交流促進のため、高速道路の整備を進めるべき

中部

東海地震等の発生が危惧され、緊急輸送道路及びライフラインの確保が緊急課題

バイパス整備、交差点改良等により、慢性的な渋滞区間の解消を進めるべき

近畿

大災害時の避難・救助ルートの確保等、災害対策を進めるべき

交通事故対策として、通勤・通学路の歩道整備など日常の暮らしを支える生活道路の整備が必要

中国

集中豪雨等による道路ネットワークの分断を解消するため、災害対策を進めるべき

地域間競争に欠かせない高速道路ネットワークの整備を進めるべき

四国

東南海・南海地震の発生に備え、災害に強い道路整備を進めるべき

地域の自立・競争力の強化、交流促進のため、高速道路ネットワークの整備を進めるべき

九州・沖縄

通学路の歩道整備、急カーブの改良等の交通安全対策を進めるべき

高速道路整備の遅れが地域間格差を拡大しており、高速ネットワークの整備を進めるべき

都道府県知事・市町村長の意見概要(「重点化」に関する回答 / 地域ブロック別集計)

単位: %

北海道・東北		関東		北陸		中部		近畿		中国		四国		九州・沖縄	
生活幹線道路整備	78.5	生活幹線道路整備	71.9	生活幹線道路整備	65.3	生活幹線道路整備	71.7	生活幹線道路整備	76.9	生活幹線道路整備	81.2	災害対策	82.0	生活幹線道路整備	72.5
高速道路整備	58.9	交通事故対策	51.1	災害対策	61.1	災害対策	52.8	災害対策	65.5	災害対策	53.0	生活幹線道路整備	76.0	交通事故対策	39.2
災害対策	57.4	渋滞対策	46.7	高速道路整備	47.2	渋滞対策	48.9	交通事故対策	51.1	高速道路整備	52.1	高速道路整備	57.0	高速道路整備	38.6
交通事故対策	52.2	災害対策	45.8	交通事故対策	37.5	交通事故対策	40.6	高速道路整備	50.7			交通事故対策	37.0	災害対策	35.6
道路管理の充実	27.8	高速道路整備	32.7	渋滞対策	29.2	高速道路整備	38.9	渋滞対策	49.8	渋滞対策	38.5	渋滞対策	35.0	渋滞対策	34.3
渋滞対策	22.7	バリアフリー対策	24.8	道路管理の充実	19.4	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	26.1	バリアフリー対策	34.9	道路管理の充実	23.9	道路管理の充実	17.0	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	28.8
都市や交通拠点を結ぶ道路整備	19.6	道路管理の充実	24.6	都市や交通拠点を結ぶ道路整備 バリアフリー対策	18.1	環状道路整備	18.3	道路管理の充実	27.9	バリアフリー対策	19.7			道路管理の充実	20.6
道路景観の改善	15.8	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	21.0			道路管理の充実	16.1	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	23.1	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	18.8	道路景観の改善	15.0	道路景観の改善	17.0

N=418

N=452

N=72

N=180

N=229

N=117

N=100

N=306

11

有識者の意見概要

全国の報道機関の論説委員、学識経験者、公益法人、NPO等を直接訪問して、2,928人の回答を得た。以下は、公表に同意された方(2,573人)の意見を整理したものである。

「効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと」としては、「既存ストックの有効活用に関するここと」(571件)、「事業評価の厳正な運用と透明性の確保に関するここと」(559件)についての意見が多くあった。一方で、行き過ぎた効率性の評価を否定的に捉える見解もあった。

「道路に関して改善すべき、無駄と感じること」としては、「道路工事のやり方に関するここと」(396件)、「道路整備の必要性に関するここと」(299件)についての意見が多くあった。

「重点化を進める上で特に優先度の高い施策」としては、「交通事故対策」(1,069件)、「生活幹線道路の整備」(878件)、「ネットワークがつながっていない高速道路の整備」(865件)などの意見が多くあった。

道路政策全般に関する意見としては、地方の道路整備の必要性に言及する意見が多くあった。一方で、交通量の少ない地方部の道路が無駄であるという意見もあった。

意見例

「効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと」について

既存ストックの有効活用に関するここと(571件)

- ・「割高感のある高速道路料金を引き下げて利用促進を。」

事業評価の厳正な運用と透明性の確保に関するここと(559件)

- ・「どの事業を優先的に進めるのかについて、客観的な指標を公開して、国民の理解を得ながら事業を進めるべき。」
- ・「事業の各段階で必要性をチェックするなど事業評価の厳正な運用を図るべき。」
- ・「行き過ぎた効率化を求め、選択と集中を進め過ぎると、大都市優先となり、国土整備がいびつとなる。」
- ・「危機管理、救急医療など、経済性・効率性だけでは評価できない道路整備もあると考える。」

工程管理に関するここと(375件)

- ・「事業の完成まで時間がかかり過ぎる。スピード感が必要。」

既存ストックの長寿命化を図るべき(331件)

- ・「ライフサイクルコストを考慮したコスト削減を含め、既存施設の維持管理施策を重視すべき。」

「道路に関して改善すべきこと・無駄と感じること」について

道路工事のやり方に関するここと(396件)

- ・「道路工事の一元化を図るべき。年度末等に集中している予算消化のような道路工事はやめるべき。必要性を明らかにするべき。」

道路整備の必要性に関するここと(299件)

- ・「交通量が少ないので道路幅が広い等、地域の実情に合わない道路は無駄であり、改善すべきである。」
- ・「交通量が少ないので高速道路と国道バイパスが並行したり、立派な農道と並行するような道路は無駄であり、調整して整備すべき。」

「重点化を進める上で特に優先度の高い政策」について

交通事故対策(1,069件)

- ・「歩行者の安全を確保するため、歩道と車道の分離や、自転車道の整備を進めるべき。」
- ・「高齢者が運転しやすい道路構造とすべき。」

生活幹線道路の整備(878件)

- ・「高次医療施設への時間距離を短縮するために道路整備は不可欠。」

ネットワークがつながっていない高速道路の整備(865件)

- ・「都市間距離が格段に長い広域分散型社会である北海道では、高速交通ネットワークの早期形成が重要。」
- ・「地域間格差をなくす高規格幹線道路の整備は、国の責任でやってもらいたい。」

渋滞対策(853件)

- ・「交通密度、人口密度が高いところでは重点的・優先的な渋滞対策が必要」
- ・「渋滞対策や開かずの踏切の解消などの施策は、ニーズがあり、誰もが納得すると考える。」

災害対策(689件)

- ・「落石、雪崩等危険箇所対策等の災害対策や緊急輸送路の整備を進めるべき。」

道路管理の充実(679件)

- ・「道路の維持・管理は、生活・産業のために優先すべき。」

道路景観の改善(557件)

- ・「景観、眺望、自然に配慮した道路整備、文化、歴史を活かした道路整備をすべき。」

案内標識の整備(439件)

- ・「高齢のドライバーが増えていく中で、標識の見やすさや、道路名の分かり易さが求められている。」

「道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見」について

中期計画・道路政策・道路整備への提言に関すること(996件)

- ・「将来の国家構造を考えたインフラ整備が必要。」
- ・「はじめに道路ありきではなく、社会資本のひとつとして相対化して考えるべき。」

道路特定財源に関すること(624件)

- ・「地方の道路は不十分であり、地域活性化のためにも道路整備が必要。そのため、道路特定財源が必要。」
- ・「道路特定財源は一般財源化すべき。財政再建が必要であり、他施策との優先順位を検討すべき。」

地方の道路整備の必要性に関すること(501件)

- ・「都市と地方の道路整備の不公平さを解消してほしい。道路の整備レベルが経済の競争レベルの格差を生む。」
- ・「自動車以外の公共交通が発達している都市部と移動手段が自動車に限定される地方では、道路の必要性が異なる。」
- ・「交通量の少ない地方部の道路は無駄。高速道路も整備水準が上っており、これ以上の整備は不要ではないか。」

(参考)国民を対象とした一般アンケート調査の回答者の属性

(N = 101,314)

年齢別×男女別

	回答者数	率(%)	H17国勢調査による割合(%)
男性	75638	77.8	48.2
女性	21570	22.2	51.8
合計	97208	100.0	100.0

無回答 4,106

地方ブロック別(県別は次頁)

	回答者数	率(%)	H17国勢調査による割合(%)
北海道・東北	30,191	30.5	12.0
関東	11,512	11.6	35.2
北陸	2,173	2.2	3.7
中部	7,401	7.5	11.6
近畿	11,405	11.5	16.9
中国	12,691	12.8	6.0
四国	14,522	14.7	3.2
九州・沖縄	8,961	9.1	11.3
合計	98,856	100.0	100.0

無回答2,458

(参考)国民を対象とした一般アンケート調査の回答者の属性

(N = 101,314)

都道府県別

	回答者数	率(%)	H17国勢 調査による 割合(%)
北海道	13,505	13.7	4.5
青森県	1,273	1.3	1.1
岩手県	2,394	2.4	1.1
宮城県	2,483	2.5	1.8
秋田県	1,437	1.5	0.9
山形県	5,934	6.0	1.0
福島県	3,165	3.2	1.6
茨城県	657	0.7	2.3
栃木県	1,920	1.9	1.6
群馬県	837	0.8	1.6
埼玉県	1,676	1.7	5.5
千葉県	1,184	1.2	4.8
東京都	1,456	1.5	10.1
神奈川県	958	1.0	6.9
新潟県	913	0.9	1.9
富山県	392	0.4	0.9

無回答 2,458

	回答者数	率(%)	H17国勢 調査による 割合(%)
石川県	868	0.9	0.9
福井県	1,443	1.5	0.6
山梨県	1,034	1.0	0.7
長野県	1,790	1.8	1.7
岐阜県	1,078	1.1	1.6
静岡県	1,475	1.5	3.0
愛知県	3,384	3.4	5.6
三重県	1,464	1.5	1.5
滋賀県	570	0.6	1.1
京都府	740	0.7	2.1
大阪府	2,314	2.3	6.9
兵庫県	3,514	3.6	4.3
奈良県	1,128	1.1	1.1
和歌山県	1,696	1.7	0.8
鳥取県	1,697	1.7	0.5
島根県	4,984	5.0	0.6

	回答者数	率(%)	H17国勢 調査による 割合(%)
岡山県	1,060	1.1	1.5
広島県	2,396	2.4	2.2
山口県	2,554	2.6	1.2
徳島県	2,567	2.6	0.6
香川県	1,724	1.7	0.8
愛媛県	4,135	4.2	1.2
高知県	6,096	6.2	0.6
福岡県	2,143	2.2	3.9
佐賀県	522	0.5	0.7
長崎県	837	0.8	1.1
熊本県	1,646	1.7	1.4
大分県	866	0.9	0.9
宮崎県	1,332	1.3	0.9
鹿児島県	964	1.0	1.4
沖縄県	651	0.7	1.0
合計	98,856	100.0	100.0